



市議会だより



嬉野おおきん祭り



武四郎まつり



飯南ふれあい祭



宮前フェスティバル

主な掲載内容

- 2～ 4ページ…… 5月臨時会・定例会の概要
- 4～ 5ページ…… 議決結果一覧表
- 6～13ページ…… 一般質問
- 14～15ページ…… 常任委員会の審査
- 16～17ページ…… 議会報告会
- 18ページ…… 議会のうごき、9月定例会日程、議会放映、編集後記

5月臨時会の概要

5月臨時会は、平成25年5月1日(水)の会期1日間の日程で開催し、市長から提案された3議案を審議し、それぞれ可決・承認するとともに、1件の人事案件に同意しました。また、報告1件を審議しました。

主な議案の内容

議案第69号

平成25年度松阪市競輪事業特別会計

補正予算(第1号)

・松阪競輪包括業務委託事業者審査委員会事業費

(108万8000円)

包括業務委託先の候補となる者を公募し、提案された内容を審査するために必要な経費です。

議案第72号

固定資産評価員の選任について

次の者を選任することに同意しました。

山敷敬純氏

選挙第4号

三重県後期高齢者医療広域連合議会の議員(補充)選挙について

次の者が当選しました。

小牧豊文氏

5月定例会の概要

5月定例会は、平成25年5月31日(金)から6月21日(金)までの会期22日間の日程で開催しました。今定例会では、市長から提案された23議案を審議し、それぞれ可決するとともに、1件の人事案件に賛成しました。また、報告9件を審議しました。

議員から提出された議案1件については原案どおり可決しました。市民の皆様から提出されました請願2件については、1件が不採択となりましたが、1件を採択し、意見書として、議員から提出され可決された意見書1件とともに、関係行政庁に送付しました。

主な議案の内容

議案第73号

平成25年度松阪市一般会計補正予算

(第1号)

・次世代人材応援事業費

(352万1000円)

39歳以下の若者を対象に、未来の松阪市のビジョンとそれを実現するための政策及び予算を競い合うコンテストを実施し、若者の市政への参加意欲の向上を図るものです。

・情報化推進計画策定事業費

(143万8000円)

情報通信技術がもたらす効用を最大限に生かし、効率的な行政の推進と市民サービスの向上が図れるよう情報化推進計画を策定するものです。

・防災行政無線整備事業費

(2043万3000円)

嬉野地域振興局管内のうち、放送の聞き取りにくい地域に防災行政無線(同報系)の追加整備工事を行うものです。

・障がい児療育施設整備事業費

(204万3000円)

障がい児療育施設整備に伴う市民意見聴取会及び検討委員会に係る経費です。

・バイオマス・シティプロジェクト推進事業費

(531万円)

松阪市に賦存する有機性資源をエネルギーとして活用することにより、官民連携で自立・分散型エネルギー供給体制を構築し、環境にやさしく災害に強いまちづくりを目指すため、バイオマス活用推進計画を策定するものです。

・骨髓移植ドナー支援事業費

(36万8000円)

骨髓・末梢血幹細胞提供者及び提供者の勤務先に対して奨励金を

交付することにより、骨髓バンク登録者数をふやすとともに、骨髓・末梢血幹細胞提供者の増加を実現するものです。

・松阪ええもんネットショップ事業費

(378万7000円)

インターネット交流サイト「フェイスブック」を活用したネットショップを開設し、松阪市の優れた物産を全国に向けて販売することで、小規模事業者の販路を拡大し、地域経済の活性化を図るものです。



議案の審議風景

・松阪ブランド推進事業費

(260万9000円)

松阪の特産品等について、松阪ブランドとしての位置づけを明確にし、販路拡大やPR活動を積極的に行うため、ブランドの確立に向けた調査研究や講演会、ワークショップ等を開催するものです。

・飯南・飯高地域観光施設あり方検討委員会事業費
(67万1000円)

老朽化が進む飯南・飯高管内の観光施設の今後のあり方を検討するための委員会を開催するものです。

・道路整備単独事業費

(4340万円)

国の平成24年度補正予算(第1号)で創設された「地域の元気臨時交付金」を活用した市道海会寺幸生線交差点改良工事費等の追加です。

・松阪公園桜町線道路整備事業費

(5000万円)

国の平成24年度補正予算(第1号)で創設された「地域の元気臨時交付金」を活用し、市道松阪公園桜町線道路整備を行うものです。

・図書館改革推進事業費

(132万3000円)

公共図書館と司書の果たす役割を再認識し、これからの図書館のあり方を市民参加のもとで検討するため、シンポジウムを開催するものです。

議案第77号

松阪市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について

地方分権の進展に伴う地方行政の高度化・多様化・国際化に的確に対

応するため、高度の専門的な知識経験を備えた人材を、任期を定めて外部から採用し、活用することについて、「地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律」の規定に基づき、公務の効率的な運営を確保するために必要な任期付職員の採用、給与などについて必要な事項を定めるものです。

議案第87号

松阪市民病院使用料及び手数料条例の一部改正について

平成24年5月14日から、緩和ケア病棟の有料個室10室の無料化を試行し、1年あまりが経過する中で、入院待機日数の改善と縮減に大きな効果が確認できたことから、緩和ケア病棟の全室を無料とするものです。

議案第88号

工事請負契約の締結について(平成24年度松阪市総合運動公園建設工事(その4))

多目的グラウンドを整備するもので、人工芝、防球ネット等を設置するための工事を行い、平成26年度中に供用開始の予定です。

議案第89号

工事請負契約の締結について(松阪市立小野江小学校校舎増築工事(建築))

校区内の人口増加により、平成25

年度以降の新生児が2学級となり、普通教室が不足することから、校舎の増築を行うもので、普通教室4教室・特別支援教室1教室・パソコン室1教室の増築工事と、校長室・職員室・児童昇降口の既設校舎の改修工事を行い、工期は平成26年2月28日までの予定です。



請願者による趣旨説明(環境福祉委員会)

議案第94号

平成25年度松阪市一般会計補正予算(第2号)

・風しんワクチン接種緊急助成事業費 (800万7000円)

最近の風しんの流行を受けて、妊婦への感染を防止するための風しんワクチンの接種費用の一部を助成するものです。

・競争事業特別会計繰出金

(△4億6970万9000円)

下半期の包括業務委託等に伴い皆減するものです。

議案第95号

平成25年度松阪市競輪事業特別会計補正予算(第2号)

・記念競輪開催事業費

(11億6625万9000円)

11月開催の開設63周年記念競輪の開催経費です。

・記念競輪払戻金

(46億9500万円)

11月開催の開設63周年記念競輪の払戻金です。

・包括業務委託事業費

(2億6250万円)

下半期における発売・払戻・映像・警備・広告等の包括業務委託料です。



参考人招致(文教経済委員会)

議案第96号

人権擁護委員候補者の推薦について 次の候補者を推薦することに賛成しました。

岡田通子氏

発議第3号

松阪市議会委員会条例の一部改正について

次の選挙から、議員の定数を30人から28人に改める議員定数条例の改正に伴い、環境福祉委員会及び文教経済委員会の委員定数を8人から7人に改めるものです。

発議第4号

南勢志摩水道用水供給事業受水費の引き下げ等に関する意見書について
県に対して、契約水量とともに責任水量制において、水需要量の実態に応じた適正水量とする見直し、また、受水費の大幅な引き下げに配慮し、市民に低廉な水の安定供給ができるよう強く要望するものです。

発議第5号

風疹の予防接種に関する必要な措置を講じることを求める意見書について

国に対して、住民の命と健康を守るため、予防接種未接種者が予防接種を受けるために必要な措置を講じるとともに、県や各自治体が行う公費助成等に対し、財政措置を講じることが強く要望するものです。



議

決

結

果

一

覧

表

5月臨時会

【全会一致で承認・同意された案件】

議案番号	案 件
議案第70号	専決処分の承認について（松阪市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
議案第71号	専決処分の承認について（平成24年度松阪市一般会計補正予算（第8号））
議案第72号	固定資産評価員の選任について

【表決が分かれた案件】

議案番号	案 件																							審 議 結 果						
議案第69号	平成25年度松阪市競輪事業特別会計補正予算（第1号）																							賛成多数 可 決						
議員名 議案番号	真 政 ク ラ ブ								市民民主クラブ					あ か つ き 会				日本共産党			公 明 党			植松	海住	前川				
	野呂	山本	大平	大久保	濱口	佐波	山本	中森	野口	水谷	川口	永作	松田	中島	田中	中出	中瀬	堀端	中村	田中	小林	今井	久松				松田	川口	山本	西村
議案第69号	一男	芳敬	勇	陽一	高志	徹	茂治	弘幸	正	晴夫	保	邦夫	俊助	清晴	力	実	古初美	脩	良子	祐治	正司	一久	倫生	千代	寿美	節	友志	泰之	恒幸	幸敏
議案第69号	○	○	○	○	×	○	○	－	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

議長 中森弘幸は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

【報告された案件】

議案番号	案 件
報告第5号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定）

5月定例会

【報告された案件】

議案番号	案 件
報告第6号	平成24年度松阪市一般会計繰越明許費繰越計算書について
報告第7号	平成24年度松阪市水道事業会計予算繰越計算書について
報告第8号	平成24年度松阪市公共下水道事業会計予算繰越計算書について
報告第9号	松阪市土地開発公社の経営状況について
報告第10号	公益財団法人松阪市勤労者サービスセンターの経営状況について
報告第11号	一般財団法人松阪スポーツ振興研修センターの経営状況について
報告第12号	リバーサイド茶倉組合の経営状況について
報告第13号	株式会社飯高駅の経営状況について
議会改革特別委員長報告について	

5月定例会

【全会一致で可決・賛成・採択された案件】

議案番号	案 件
議案第73号	平成25年度松阪市一般会計補正予算（第1号）
議案第74号	平成25年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第77号	松阪市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について
議案第78号	松阪市地域の元気づくり基金条例の制定について
議案第79号	松阪市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
議案第80号	松阪市子ども・子育て会議条例の制定について
議案第81号	延滞金の利率の見直しに伴う関係条例の整備について
議案第82号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第83号	松阪市職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第84号	松阪市税条例の一部改正について
議案第85号	松阪市都市計画税条例の一部改正について
議案第86号	松阪市国民健康保険税条例の一部改正について
議案第87号	松阪市民病院使用料及び手数料条例の一部改正について
議案第89号	工事請負契約の締結について（松阪市立小野江小学校校舎増築工事(建築)）
議案第90号	多気町と松阪市との間における介護給付費等の支給に関する審査判定事務の委託に関する規約変更に係る協議について
議案第91号	明和町と松阪市との間における介護給付費等の支給に関する審査判定事務の委託に関する規約変更に係る協議について
議案第92号	大台町と松阪市との間における介護給付費等の支給に関する審査判定事務の委託に関する規約変更に係る協議について
議案第93号	財産の取得について（松阪市総合運動公園用地）
議案第96号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議第 3号	松阪市議会委員会条例の一部改正について
発議第 4号	南勢志摩水道用水供給事業受水費の引き下げ等に関する意見書について
発議第 5号	風疹の予防接種に関する必要な措置を講じることを求める意見書について
請願第 1号	風疹の予防接種費用に公費助成を求める請願

【表決が分かれた案件】

議案番号	案 件																							審 議 結 果								
議案第75号	平成25年度松阪市ケーブルシステム事業特別会計補正予算（第1号）																							賛成多数 可 決								
議案第76号	平成25年度松阪市松阪市民病院事業会計補正予算（第1号）																							賛成多数 可 決								
議案第88号	工事請負契約の締結について（平成24年度松阪市総合運動公園建設工事(その4)）																							賛成多数 可 決								
議案第94号	平成25年度松阪市一般会計補正予算（第2号）																							賛成多数 可 決								
議案第95号	平成25年度松阪市競輪事業特別会計補正予算（第2号）																							賛成多数 可 決								
請願第2号	T P P（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加に反対する請願																							賛成少数 不採択								
議員名 議案番号	真 政 ク ラ ブ								市 民 民 主 ク ラ ブ						あ か つ き 会				日 本 共 産 党			公 明 党			植 松 泰 之	海 住 恒 幸	前 川 幸 敏					
	野 呂 一 男	山 本 芳 敬	大 平 勇	大 久 保 陽 一	濱 口 高 志	佐 波 徹	山 本 登 茂 治	中 森 弘 幸	野 口 正	水 谷 晴 夫	川 口 保	永 作 邦 夫	松 田 俊 助	中 島 清 晴	田 中 力	中 出 実	中 瀬 古 初 美	堀 端 脩	中 村 良 子	田 中 祐 治	小 林 正 司	今 井 一 久	久 松 倫 生	松 田 千 代				川 口 寿 美	山 本 節	西 村 友 志		
議案第75号	○	○	○	○	○	○	○	－	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	○	○	○	○	○	○	○	－	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第94号	○	○	○	○	×	○	○	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	○	○	○	○	×	○	○	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
請願第2号	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	

議長 中森弘幸は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員 欠は欠席者

一般質問



たかし 高志
はまぐち 濱口
議員

(真政クラブ)

市職員給与の統一について

問 旧市町の給与水準について、合併後8年経過し、統一できたのか。

また、幼稚園は教育職、保育園は行政職と違っていたが、統一は。

答 旧松阪市をモデルに新たな給与表をつくり、昇給を調整し、本年4月に統一が図られた。ただし、

三雲・嬉野の幼稚園勤務の場合は、行政職の給料表のため、保育園の方が早く昇給する可能性がある。

意見 今のシステムでは十分でないので、改定していただきたい。

民生委員・児童委員の充足について

問 各地域で民生委員・児童委員の

なり手がなく困っているという声を聞く。ボランティアの域を超え、負担が多すぎるのではないか。同じような仕事を市や社協等の職員

は有給で行っている。平成22年に定年を65歳から75歳に延ばし、定員を充足したが、これは単なる問題の先送りである。この制度はす

でに破綻しているのではないか。

答 最近では相談だけでなく、かわりを持つなど負担がふえている。本年度は改選期なので、アンケートを取り、活動費、旅費等のあり方等を検討したい。

三雲地域の浸水対策について

問 三雲地域の浸水対策として、碧川沿いに遊水機能を持った公園や

碧川から三渡川へ横断する排水路をつくる等、住民から意見が出ているがこれらは検討されたのか。また、三渡川、碧川の堤防に裂け目が目立つが改修計画は。

答 浸水対策は、いろんな角度から検討し、建設、上下水道、農林と連携しながら進める。堤防については、県が24年度に空洞調査を行い、本年度より補修工事を行う。



堤防の裂け目から木が！



やまもと 山本
たかし 節
議員

(公明党)

拡大する違法ケシ駆除対策について

問 本年、松阪市域内に違法ケシが

多く発生している。自治会や住民協議会等にご協力をいただき、空き地の適正な管理も含め、監視・除去等の体制を取るべきだと思いがどうか。また、5月を違法ケシ除去月間と位置づける考えは。

答 保健所に講師を依頼し、自治会や市民の皆様に理解を深めていただく必要がある。また、市職員も研修を行い、日常的なパトロールや、県とのクリーンアップ作戦等の実施を考えていきたい。

特定外来種動物対策について

問 市内における特定外来種・アラ

イグマの発見件数が増加し、農産物への被害や人畜共有の病原菌が蔓延する前に対策を講じる必要がある。駆除計画を策定し、環境省の確認・認定を受け、駆除体制を取るべきだが考えは。

答 早期対応が必要であることから、今後は情報収集に努めると

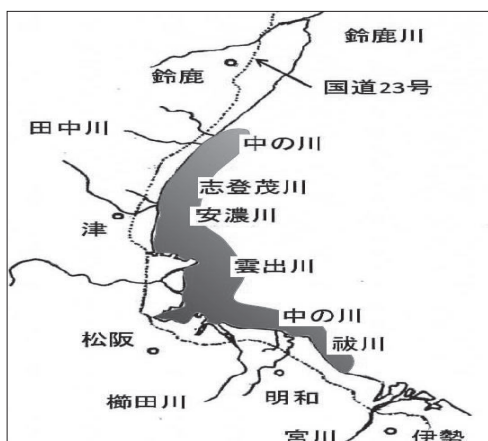
もに、計画を策定し、農産物への被害が拡大しないよう対策する。

干潟のラムサール条約登録に向けて

問 昨年の3月議会でもラムサール条

約登録への提案をしたが、本年4月には、日本野鳥の会三重から同主旨の要望書が提出された。今後、関係市町との合同協議会を設置し、県とも連携を取りながら体制づくりをする考えはあるか。

答 津市や明和町とも連携を取りながら、進め方等について整理し、協議を進めていきたい。



ラムサール条約登録候補地域

その他の質問事項

・斎場の運営について
・リース方式による公共施設等へのLED照明の導入について

一般質問



おおひら いさむ
大平 勇
議員
(真政クラブ)

市立幼稚園の全ての園における給食実施について

問 学校給食センターベルランチの開設時、中学校の給食が軌道に乗れば幼稚園にも拡大すると聞いているが、実施時期はいつか。

答 未実施の幼稚園は、小学校に併設されていない射和幼稚園、大石幼稚園、山室幼稚園、花岡幼稚園、鎌田幼稚園の5園である。給食の実施時期は平成26年9月を予定している。園が分散しているのでベルランチからの配送を考えている。

松阪駅周辺における図書館機能について

問 駅前の図書館機能の現状は。また、今年度予定の図書館改革推進事業で、市民の声や三重中京大の図書館の活用、佐賀県武雄市の先進例を参考に検討してはどうか。

答 駅前の観光情報センターに図書館の返却窓口を設けているが利用は少ない。市民の声を聞くシンポジウムを7月に計画しているので、市民の意見を参考に将来に向けた

新しい図書館構想を考えていく。

三重国体の誘致競技種目について

問 2021年の三重国体に備え強化指定団体等、すでにスタートしているが、松阪市が誘致を目指す競技種目は何か。

答 高校野球の決勝戦を整備後の県営球場でぜひやってもらいたい。また、軟式野球、自転車競技、サッカー、ボクシング、アーチェリーなどの誘致を進めていきたい。

新ごみ処理施設の名称について

問 市民に親しまれる名称としてどのように考えているのか。

答 工事は順調に進み、名称は今年の秋ごろに公募を予定している。命名権は考えていない。



工事が順調に進む新ごみ処理施設



なかむら よしこ
中村 良子
議員
(あかつき会)

津波浸水地域の避難について

問 南海、東南海地震が明日起こるかもしれない中、逃げ遅れ、逃げない選択、逃げられない身体的問題がある方などのことを考えると、声かけだけでは率先避難は不十分な状況になると予想される。逃げることを優先する意識づけについての考え方は。

答 住民等の避難を軸に情報の伝達体制、避難施設整備とともに、防災教育、避難訓練等の総合的対策が必要であり、住民協議会の協力体制のもと、地域力と互助の精神を養い、地域のきずなを深めていく、普段から顔の見える関係づくりが大切であると考えている。

問 リヤカー等の備品整備はどうか。

答 いかに避難するかの検証、約束事が必要であり、各地域で成熟した状況になってきた段階で、市として検討しなければならぬ。

問 津波避難地図における避難場所の収容人数、安全度、構造物の種類など、情報の見える化について、

どう考えているのか。

答 平成25年に避難所マップを作成し、指定避難所や津波一時避難ビルの高さ、名称の文字化、収容人数等を色や記号でわかりやすく伝え、情報の見える化に努めていく。

まつさかファミリーサポートセンターについて

問 援助会員にとってわかりにくい場所、公共交通や徒歩により事務所に行くことが難しいファミリーサポートセンターの設置場所について、どう考えるか。

答 当初は契約のため事務所を訪れていたが、その後は電話連絡等でも可能である。また、現在では民家を借りているが、公共施設となればNPO法人の自主事業を区分する必要があることから、NPO法人と話し合いをしていく。



まつさかファミリーサポートセンター（下村町）

一般質問



まつだ ちよこ
松田 千代
議員

(日本共産党)

震災時の沿岸部避難対策について

問

南海トラフの巨大地震の発生頻度は低いですが、発生すれば西日本を中心に最大クラスの巨大な津波が13都府県の広い範囲で襲来し、甚大な人的・物的被害が発生することが想定され、これまでの対策では十分な対応は困難と指摘されている。住民の命を守る公のあり方として、いち早く危険を知らせることや安全な避難場所の確保が重要であるが、取り組みの現状は。

答

現在、市内全域に防災行政無線を整備し、緊急情報を迅速かつ正確に市民に周知する体制が整いつつあり、携帯電話を媒体とする防災情報メールとエリアメールを平成23年9月より整備し、いち早く危険を知らせることに努めている。平成23年6月に津波緊急一時避難ビル指定ガイドラインを作成し、津波浸水想定区域内の17施設と協定を締結し、津波緊急一時避難ビルとして指定している。また、区域内の小中学校14校とリサイクルセンターを合わせて32力所の津

波避難施設を指定している。

問

障がい児に対して、サポートブックの作成を推進し、災害時にも活用していくという動きがある。これらの情報を災害時には共有し、活用できるようにする必要があると考えているが、見解は。

答

サポートブックは、避難所の運営に当たり活用が期待される。社会福祉協議会、福祉課等と連携し、情報共有のあり方や活用などについて調査研究していきたい。



津波避難施設に指定されている第四小学校校舎

生活保護法改正による生活困窮者への対応について

問

市民の命を守る最後のセーフティネットである生活保護法改正に対する市長の見解は。

答

国に対し、言っべきはしっかりとと言う中で、現場の実情を伝える。



こばやし まさし
小林 正司
議員

(あかつき会)

バタヤンこと田端義夫氏の功績について

問

レコード大賞等立派な功績を残し、日本の国民に生きる勇氣と希望を与えてくれた田端義夫氏を名誉市民に推挙する考えは。

答

戦後の復興期において多くの功績を残されたが、名誉市民はこれまで行政、議会関係者が圧倒的に多い。市民の声も聞いていくことが大事であると考えている。

名所・史跡を結ぶカラー舗装について

問

観光ガイド「ぶらり松阪路」の名所・史跡を結ぶカラー舗装はできないか。

答

観光客の周遊性と利便性を向上するためのハード面の整備において今後進めていきたい。具体的には観光戦略会議で関係機関や観光ガイドボランティア等の意見も聞き、整備内容を検討していきたい。

松坂城大手門跡へ休憩所及び土産店等の設置について

問

松坂城の大手門跡へ休憩所や土

産物店等の設置はできないか。

答

観光客のニーズに応じたソフト・ハードの面で、関係団体や市民の方々と一本化して整備に努めたい。また、今後長谷川邸の整備計画の中で、面として整備し、観光客の利便性を図りたい。

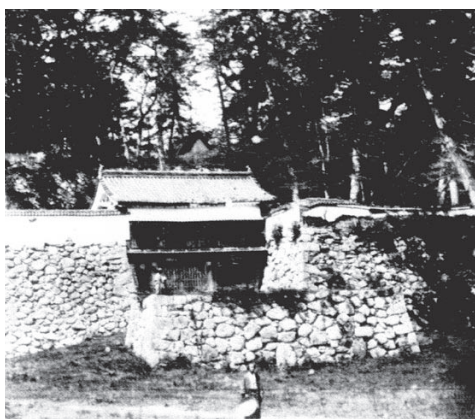
松坂城(蒲生城)やぐら追手門の設置について

問

表門の追手門を復元できないか。

答

松坂城跡は日本名城100選に選ばれているが、表門は資料自体が決して十分でない。今後松坂城跡のあり方などにおいて、市民の歴史を感じてもらえるあり方をAR・VRというITC技術(情報通信技術)を活用しながら行っていくと考えている。



「蒲生城追手門」三ノ丸大手筋から表門を撮影したもの(櫓門式の城門)

一般質問



やまもと 山本 登茂治
議員

(真政クラブ)

農業の将来について

問 TPPの現在の状況と松阪市の考え方は。

答 3月に首相がTPPの交渉参加を表明したことから、4月11日に市長がJA関係者とともに農林水産副大臣を訪ね、要望書を手渡した。安全な食糧の安定供給や食糧自給率の向上、農林水産業及び農山漁村の振興のための国としての対策を十分に考慮した中で、慎重な対応をしていただきたいと考えている。市としても、県や関係機関と連携し、TPPの動向に注視しながら対応を図っていききたい。

問 担い手不足と耕作放棄地の増加に対する市の考え方は。

答 地域の農業は地域全体で守っていくという観点から、地域の農業者を主体とした話し合いによる地域ごとのルールづくりにより、農業基盤整備の促進とともに、集落営農組織の設立を推進してきた。また、中山間地域等直接支払事業交付金を通じた地域ぐるみによる農道、水路の共同管理充実や、水

田農業支援対策事業補助金による農業生産活動の継続と農地の保全を図ることにより、新たな耕作放棄地の発生を抑制している。

問 米単作農家の支援と今後の農業の持続に対する市の考え方は。

答 市内農業者の米の需給調整や、麦、大豆などの自給率向上のため、の取り組みを支援することにより、水田を有効活用し、地域の特性を生かした水田農業経営の安定化を図っている。また、今後の市の農業を持続するためにも、担い手の育成確保が重要であり、青年の新規就農者に対する支援、担い手への農地の集積支援などを国等の制度を利用して農業支援の展開を持続して図っていききたい。今後も、県、JA等関係機関と連携し、継続した支援を図っていききたい。



ほりばた 堀端 修
議員

(あかつき会)

野良猫対策について

問 去勢費用を社会全体で負担し、一代で終わらせ、野良猫を減らしていく努力が必要と思うがどうか。

答 去勢避妊手術費はかなりの負担がある中、行政として継続した支援と徹底した啓発活動を推進していければと思っている。

都市間交流について

問 山中市長をはじめ担当部局が浜田市へ出向かれる予定はないか。

答 浜田市とは、駅鈴を通じた交流の中、今後いろんな形で連携していくという前向きな話し合いをしている。

避難所トリアージについて

問 市の防災訓練は、今年で10年目となるが、少しマンネリ化も否めない。災害時避難所において、要援護者を優先的にどのようなサポートしていくのか。

答 避難所の収容がすべての人を受け入れるというのは非常に難しい状況であり、防災訓練の中で、平時から協議、検討し、一人でも多くの住民が身近な課題であるという意識を持っていただくことが重要と考えている。

阪内川の河川整備について

問 以前にも質問し、対策が進められている。今後市として、県等と継続した整備の推進を考えていると思うがどうか。

答 河川管理者である県や地元の関係者、建設部で現地確認を行い、県が順次着手していくと聞いており、今後も事業主体である県と連携しながら取り組んでいきたい。意見 今後とも、県と連携を取って推進をしていただきたい。



阪内川、河川工事においては、全線、堆積物の捨て場所が決まった自治会より対応していく

一般質問



かいじゅう つねゆき
海住 恒幸
議員

(会派に所属しない議員)

郊外の団地が持続可能な施策づくり

問

松阪にも大きな住宅団地があつて、10年を一つの単位に、年齢別人口が激しく変化している。日丘町や平成町、虹が丘町などの住宅団地では、過疎の高齢化と違って、ある特定の時期にまとめて分譲するので、高齢化する人口は固まりとなつてあらわれ、30年、40年たてば大量の高齢者を生み出す。急激な高齢化を迎えたとき、そのまちはどうなるのか。東京の多摩ニュータウンや、愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンでも「オールドタウン」となっているが、こういった問題について松阪市では政策課題としての受け皿が存在していない。住宅団地の場合、それ自体が一つのまちであるので、平面的な広がりを持っているところを管理していく大変さがある。こうした団地の持続可能性に行政課題としてどう向き合っているのか。

答 団地の高齢化に対する問題について、多摩ニュータウンなど、い

くつかの地域で研究が行われている。松阪市も今後の大きな課題として認識しなければならない。

問

広島市では実態把握に向けた取り組みが行われ、研究論文も出ている。団地のインフラの傷みや高齢化の問題に誰がどう取り組んでいくかが問われている。特定の団地で顕在化した問題はいずれ他の団地でも発生する。どこでも起こり得る行政課題として捉えていく必要性について、市長の認識は。

答

公共交通の問題などいろいろな課題に全庁的に取り組んでいく研究をさせていただく。

意見

旧松阪市の外周を見ればわかるとおり、団地銀座となりつつある。そこに住んでいる人の数は、市全体の中でかなりの比率になっている。政策課題として取り組んでいくことを検討いただきたい。



郊外の住宅団地の住民の絆を深める行事＝日丘町で



ながさく くに お
永作 邦夫
議員

(市民民主クラブ)

松阪牛・松阪肉について

問

現在の松阪牛の状況は。

答

平成14年の肥育農家は121戸、登録頭数は4761頭で、25年5月現在、肥育農家は110戸と減少しているが、登録頭数は9481頭となっている。

問

肥育規模の大規模化についての見方は。

答

農家の高齢化による廃業もあり戸数は減ってきている中、ある意味企業化はしているものの、今後もし急激な伸びはないと思うが、現状以上の頭数が予想されると考えている。

問

松阪肉の輸出に対する市長の考えは。

答

民間事業者の取り組みであり、今後は松阪牛協議会、連絡協議会とともに、全体で輸出のあり方を考えていきたい。

問

食肉公社の今後は。

答

築後35年が経過し老朽化しており、昨年、施設等整備の検討委員会を立ち上げた。輸出处応施設への建てかえを含む施設整備を今後

10年の中で進めていきたい。

問

大規模牛舎の建設による松阪牛への影響は。

答

現肥育農家との競合を避けるとともに、松阪牛の品質そのものを保って取引をしていただきたいと思っている。

問

大規模牛舎の建設反対の署名をどう受けとめるのか。

答

地元住民の生活環境・自然環境に影響が大きいということを住民の多くの意見と受けとめ、環境保全審議会を開催するという認識に立った。

問

牛舎の建設を阻止できるのか。

答

環境保全審議会の答申を受け、判断をするが、環境保全条例施行規則第4条の規定を踏まえて、環境保全審議会の意向を含めた形で、県に意見書を出したい。



高田大日寺座牛像

一般質問



なか せ こ はつ み
中瀬 古 初美
議 員

(あかつき会)

介護現場における現状と課題、今後の取り組みについて

問 介護現場で口腔ケアに取り組むことで、誤嚥性肺炎予防、認知症発症の低下、医療費の削減が期待できる。取り組む介護現場の職員から、どのような意見があるか。

答 専門家の研修や指導を受けたいとか、個別の状態にあった口腔ケア手法の指導を受けたいなど、自分たちで勉強して正しいケア方法を学びたいとの意見が多かった。

問 今後の市の取り組みは。

答 介護サービス事業所等連絡協議会の事務局が、市介護高齢課にある。会長と協議して、介護施設の職員を寄せ、その中で研修したり、歯科医師会の行っていることのPRを今後考えていきたい。

男女共同参画の視点から見る防災について

問 内閣府が女性や乳幼児向けの生活必需品の備蓄を求めている。市も早急に修正と検討が必要と思うが考えは。

答 避難所マニュアルを3力年かけ

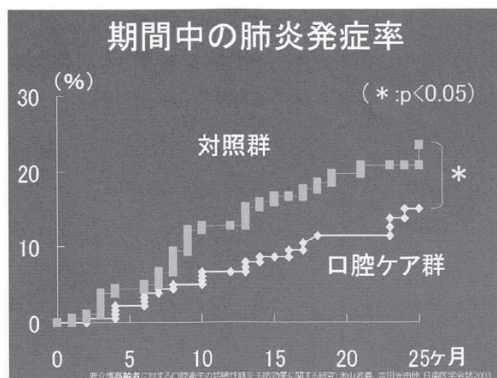
て作成している。この中に女性の視点に立った男女のニーズの違いをしっかりと網羅したい。避難所での下着などの配布にも配慮を設け、市の避難所運営マニュアルの中に記載し、活用していきたい。

歴史街道・風景街道に対する市の認識について

問 風景街道に和歌山街道が入っていない。地域住民の機運が高まる中、行政の対応は。

答 和歌山街道は古くから重要な役割を果たしてきており、歴史の残るすばらしい景観が残っている。活動団体の追加登録やルートの追加要望があれば、国土交通省に働きかけるなどかわつていきたい。また、活用に向けて地元の方々と具体的な方策を検討していきたい。

日歯医学会誌2001より



口腔ケアを継続することにより要介護高齢者の誤嚥性肺炎の発症を4割程度予防できる



いまい かず ひ さ
今井 一久
議 員

(日本共産党)

市民アンケートに基づく市民の声に市長はどう応えるか

問 日本共産党松阪市議団が実施したアンケート結果では、「どんな市政を望むか」について、「暮らしを大切にする市政」が44・7%、「市民負担をふやさない」が43・8%であった。これらの声に対する市長の考えは。

答 痛みが大きい方へのフォローや地域でできるサポートのあり方、まちの活性化に対する投資をきめ細かに行っていくことが、行政の責任であると思っている。

問 「財政調整基金の使い道」については、「国保税の引き下げ、負担軽減」が43・8%、「介護保険の改善・充実」が41・9%であった。年金が下がる一方、国保税や介護保険料などはふえ、市民の負担感が増している。一般財源を投入することによって引き下げるべきかと思うが、市長の考えは。

答 財調は決して貯蓄というイメージではない。経済情勢が非常に厳しい中、低所得者に対する施策はあえて打たせていただいている

幼・小・中の普通教室へのエアコンの設置について

問 PTA連合会や小中学校校長会などから、空調設備の一層の充実を重点要望とした署名が提出されているが、実態はどうか。また、今後の対応は。

答 平成22年度までに小中学校の職員室、保健室等と、幼稚園の職員室、遊戯室の空調を整備した。全小中学校の普通教室の空調整備に概算で14億円必要となり、よしずや緑のカーテン等それぞれの学校で工夫しながら乗り切っている。今後は新築や改築時に空調設備の導入も視野に入れ、教育現場と協議しながら進めていきたい。



西日が当たり、より暑い中部中学校の新棟

一般質問



ひさまつ みちお
久松 倫生
議員

(日本共産党)

人権啓発冊子の委託について

問 3月の総務生活委員会でも耳を疑うことがあった。人権啓発冊子の

発刊を松阪地区同和教育推進協議会（松同推）にずっと2号随契で委託していた。契約先には解放同盟が同居しており、松同推の事務局長は解放同盟の代表で、かつて市教委の職員が次長をしていた。機関紙「かけはし」の1号から3号などは政治文書で、松同推はどんな団体かと聞いたことがある。当時の教育長は「別団体」と答えて、公式な教育団体とは認めなかったが、見解は変わったのか。

答 当時の見解と同じである。

問 特定の団体に偏らないと議会で答弁しているながら、逆のことをやっている。これが市行政か。

答 松同推に2号随契するつもりはない。こういう団体へ丸投げするような必要性はないと判断する。

住宅リフォーム助成制度について

問 住宅リフォーム助成制度を求め

てきたが、現場目線でのアイデアがあるのか。

答 来年度から制度をスタートさせる。豪商のまちをイメージした商業活性化の店舗リニューアル、バリアフリー、子育て世代の住宅改修、過疎地域の空家対策などを全体として考え、目的をもった形で進めることを約束する。

水道料金引き下げについて

問 4月に市長が県等への要望書や

報道で契約水量の見直しを言及している。四半世紀の課題を大きく変えるものと言えるが、見解は。答 日量6万m³余の契約水量及び責任水量制45%の見直しを要望した。

意見 6万m³余の見直しに言及したことには、歴史的意義がある。



注目集める住宅リフォーム助成、水道問題



うえまつ けんじ
植松 泰之
議員

(会派に所属しない議員)

修学旅行先に偏向教育を助長する施設が選定されている問題について

問 現在、小学校では、修学旅行先

としてピースおおさか、リバティおおさか、立命館国際平和ミュージアムが選ばれており、今年度は旧市内のおよそ9割の学校が行くことになっている。特にピースおおさかは大東亜戦争の歴史を写真と説明文でまとめた施設で、「日本軍による南京攻略後、場外の鉄条網の上に置かれた中国人の首」の写真、「日本軍が後ろ手に中国人を縛って生き埋めにする」写真などが説明文を付けて展示されている。このような施設で修学旅行の目的が達成できるのか。

答 教育的意義は十分ある。そこで平和の大切さを学ぶことである。

問 学習指導要領では、各学年の目標や内容の趣旨を逸脱してはならないと規定している。この「生首」の写真を見て、何も感じないのか。平和のためなら良いのだと保護者の前で言えるのか。学習指導要領の社会科の目標には「我が国の歴

史に対する愛情を育てること」がうたわれている。教科書をつくる際も未確定な時事的事象は断定的に記述しないよう規定している。修学旅行先としてそれらの点が全く配慮されていないのではないのか。

答 教科書の内容とピースおおさかは深く関連している。

問 既に大阪市や大阪府は、議会からの指摘により、当施設の展示内容は教育基本法や学習指導要領の趣旨に沿った内容になっていないか。かつたとして全面的な展示更新を行うとしている。松阪市の教育委員会も検討すべきではないのか。

答 修学旅行の目的地として逸脱しておらず、検討する必要はない。

問 どういう基準で松阪市は逸脱していないと言っているのか。

答 なかなか判断しかねる。



日本軍による南京攻略後、城外の鉄条網の上におかれた中国人の首
Head of decapitated Chinese displayed on barbed wire after Japanese Army occupation of Nanjing

議会の録画放送で放映された画像処理を施した“生首”の写真（ピースおおさかでは画像処理されないまま展示されている）

一般質問



まえがわ ゆきとし
前川 幸敏
議員

(会派に所属しない議員)

少子化対策について

問 6月6日、厚生労働省へ行き、

田村大臣と面会をさせていただいた。後援会が行った少子化対策についての調査結果から、若い保護者の方が切実に訴えているという。松阪市の現状を踏まえ、政府が提案している幼児教育の無償化を早急に進めていただきたいということをお願いしてきた。

第3子の保育料無料化の考え方について、松阪市では60人くらいしか当てはまらないということであるが、本当にこの第3子の保育料無料化が少子化対策に効果を上げているのか。

やはり将来にわたって、子どもは宝である。財政が厳しいこともよくわかるが、山中市長がいつも言われている「命が一番大事である」ということから、検討する余地はないのか。

答 検討する余地は全くあると思う。この少子化対策は、松阪市は他の自治体に全く劣らない形で、さまざまな手法の中で、教育環境

の整備から不育症に対するあり方、不妊症へのアプローチのあり方、医療費に対するサポート、命に対するあり方、保育園におけるあり方、保育行政のあり方、就労支援のあり方、いろんなことをポリシミックスという形でやっていく。

全体の中で、どこに予算を配分して効果的にするのかというのは考える部分があり、前川議員が提案をされたことも、全体の子育て環境の整備や少子化対策のあり方など、そういうことも含めて、検討の一つとさせていただけたらと思う。



元気よく遊ぶ仲よし園児

その他の質問事項

- ・災害時のペット対策について
- ・街道文化の掘り起こしは
- ・都市計画の考え方について



かわぐち たもつ
川口 保
議員

(市民民主クラブ)

学校生活アシスタント等の現状と今後について

問 学校生活アシスタント、学校生活サポーター、学びのサポーター

の制度や現状、仕事の内容は。学校生活アシスタントは勤務時間が短いため、子どもたちが学校にいる時刻に帰らなくなってしまうが、この時間配分はどうなっているのか。また、任用前の研修制度はないのか。

答 学校生活アシスタントは特別支援学級に在籍する児童生徒に対して、学校生活サポーターは不登校傾向にある児童生徒に対して、また、学びのサポーターは教室に入りにくい児童生徒の支援を行う。

学校生活アシスタントの勤務時間は5時間45分であり、子どもたちの状況に応じて、朝早く出て早く帰る方、遅く出て放課後遅くまで残ってもらう方など、勤務時間を調整している。研修については、任用前の研修制度はないが、現場での研修ということを主眼にしている。また、教育委員会では2回研修会を実施している。

競輪事業のこれまでの経過と今後の進め方について

問

昨年度の競輪会計は目まぐるしく変化し、11月議会で突然7億8000万円の赤字見込みが出されたが、2月議会では2億8000万円に大幅縮小された。この一連の変化に不自然さを感じる。経営改善業務を民間委託する2億1000万円の債務負担行為を議会に認めさせるものではないのか。5億円の赤字額が減った内訳は。

答 松阪競輪が開設62周年記念競輪を開催したときに、他場で場外発売をしてもらったが、10億円近くも売り上げが落ち、その精算の不用品として、賃金、委託料、負担金、従事員賃金、広告宣伝費等約5億円の減額である。



松阪競輪川越場外車券売場

議案の審議

常任委員会の審査から

5月臨時会・定例会に提出された議案は、本会議で質疑のあと、それぞれ各常任委員会に付託され、慎重に審査されました。各委員会における主な質疑応答、意見は次のとおりです。

総務生活

次世代人材応援事業について

問 次世代人材応援事業について、対象者と事業の目的は何か。

答 本事業は、次代を担う高校生や大学生、若手社会人などのグループを対象に、若者の創造する松阪市の将来像を実現するため、アイデアを競い合う政策コンテストを実施するもので、このことにより若者の松阪市政への積極的な参加意欲の向上と、松阪市に対する関心を高めてもらうことを目的とする。

情報化推進計画について

問 情報化推進計画の策定のスケジュールは。

答 本計画は、今後、採用予定の情報化の進展を図るためのCIO補佐官の助言を受けながら職員によって平成26年度中に素案を作成し、その後アクションプランを検討し、常にICT環境の進展に合わせて計画を見直ししていく。

防災行政無線整備事業について

問 嬉野地域振興局管内の防災行政無線同報系の追加工事の内容と、今後の防災行政無線整備の予定は。

答 追加工事の内容は、屋外防災行政無線子局4局と延長スピーカー1基などの設置工事である。今後の整備計画の予定について、三雲・飯南・飯高地域振興局管内の防災行政無線は、現在アナログ方式で運用しているため、耐用年数を考慮し、平成27年度からデジタル化に向けて、計画的に整備を進めていく。

問 現在、聞こえにくい場所、逆に聞こえ過ぎる場所があるが、設置するに当たっての音量の基準はあるのか。

答 現在、通報があったら職員が現場に出向き音達調査し、業者がスピーカーの方向・角度・音量等を調節した後、地元住民に確認を取って調整している状況である。音量の基準は、道路等の騒音とスピーカーの音量の差を5デシベル以上と設定している。

松阪市地域の元気づくり基金条例の制定について

問 本基金の期限と充当先は。

答 本基金は、平成24年度国の補正予算である地域の元気づけ臨時交付金を原資とし、26年度末までに取崩し、事業に充当しなければならぬ。充当先は、海会寺幸生線交差点改良工事と松阪公園桜町線道路整備工事を予定している。

環境福祉

障がい児療育施設整備事業費について

問 市民意見聴取会の目的と検討委員会の内容等をどう考えているか。

答 検討委員会では、広く限られた専門領域の方を含む委員で構成することから、広く市民の意見を聞く意味で意見聴取会を実施したい。また、検討委員会は保護者、地域関係者等で構成し、新しく整備する施設の役割と位置づけ及び事業のメニュー等を協議してもらいたいと考えている。

骨髄移植ドナー支援事業費について

問 奨励金を交付する勤務先を何故市内に限定したのか。また、骨髄を採取する病院は市内にあるのか。

答 市税を投入していること及び当該事業の実施によるドナー登録の啓発を行うことにより登録者数をふやすことが目的であることから、市内の事業所に限定した。また、骨髄を採取できる病院は津市の三重大学付属病院となる。

風しんワクチン接種緊急助成事業費について

問 接種費用に関して、遡及しての助成は考えていないのか。また、接種する医療機関の範囲と費用の支払い方法は。

答 昨年実績等から今年度においても、今後流行するものと予想したこと及び接種される方の利便性と負担軽減を考え、自己負担金額を除いた費用を代理受領方式とするため準備期間が必要なこと等から7月1日からの適用とした。また、医療機関の範囲は市外も可能だが費用については償還払いとなる。

風疹の予防接種費用に公費助成を求める請願について

問 なぜ、今回の請願では、19歳以上の方を対象としたのか

答 平成7年以降生まれの19歳以下の方は、男女ともに風しんの定期予防接種が開始されたことや、胎児や妊婦及び生まれてくる子どもの未来を守りたいとの視点から請願したものであり、妊娠

を望む女性及びその周りの方を守ることで解決につなげたいと考えている。

文教経済

競輪事業について

審査にあたり、全国競輪施行者協議会の専務理事で、松阪競輪包括業務委託事業者審査委員会委員長の森清春氏を参考人として、招致しました。

問 松阪競輪の黒字化の確率はどの程度か。また、松阪競輪の再建は可能か。

答 川越場外は、約40億円の売り上げがあり、提案書ではこの経費を半分にするとされている。売り上げの約15%が経費で使われているので、それを半分にできれば黒字にもっていけるのではないか。これについては市も一緒に努力しなければならぬが、今の提案の中身から判断し、再建できていると思っている。

問 日本写真判定が、高い評価を得た理由はどのあたりだったのか。

答 赤字になっても補填される、利益が出たら折半するなど、両面から見て松阪市にとって良い提案になっている。また、これらは提案されている施策を実行しなければならず、市の職員がしっかりとチェックしていくのが大前提である。職員も一緒に努力することな

どが各委員の高評価につながったのではない。

問 平成25年度下半期の委託料が約2億5000万円となっているが、直営と比較してどうか。

答 平成24年度の実績と比較し、16・8%の減、金額にして5300万円の減となっている。

問 平成25年7月から平成26年3月までの間、一般会計からの繰り入れは一切ないのか。

答 基本的に一般会計からの繰り入れはないものと考えている。

問 競輪事業に対し主体性をもっているのか。

答 155億円もの繰り出しにより、松阪のために貢献してくれた競輪事業を簡単には廃止できない。何とか再生したいという主体性をもってやっている。

問 包括業務委託時に、従事員の退職者への対応は。

答 包括業務委託となると、10月1日から雇用主が日本写真判定に移るため、松阪市の直接雇用は9月末で終わる。退職金等については当初予算ですでに計上済みである。

問 今後の雇用条件について、従事員は納得しているのか。

答 全員雇用を原則としている。公募要領の中にも、労働基準法及び関係法令を順守した雇用をするということは明記しており、施行者として直ちに説明していく。

問 現在の委託業者の中には、地元

の業者も多く含まれているが、包括業務委託後にそれらの地元業者に影響は出ないのか。

答 公募要領の中に、委託業務の一部を再委託する場合は、市内中小企業の受注機会の増大に努めること、また、物品の購入についても市内中小企業が製造または加工した物品の利用推進に努めることと明記してあるが、契約書にも明記していきたい。

問 包括業務委託により、新たな1歩を踏み出すことになると思うがその決意は。

答 包括業務委託したとしても、競輪事業の最終責任は施行者の松阪市にある。責任の重さを痛感している。これから3年間、松阪市、民間業者、従事員みなで力を合わせて汗を流し、新しい松阪競輪をつくっていききたい。

問 日本写真判定も、かなりの覚悟をもってこの業務に臨んできているが、市としての覚悟はあるのか。

答 市長も覚悟をもって臨むと表明しており、市として一丸となって頑張るのでよろしくお願いしたい。

建設水道

松阪公園桜町線道路整備事業について

問 事業の内容と今後の計画は。また、平成26年まで債務負担行為を

設定しているが、財源内訳はどうなっているのか。

答 工事区間は、本町交差点から松阪市役所西側までの約300メートルで、修景整備を考えている。平成25年度は、現在の市役所前から旧長谷川邸までの開渠の排水溝を暗渠化し、官民境界部分の側溝布設替えや集水桝の設置約10基を予定している。26年度は、この区間を豪商のまちから武家地へつなぐ動線と捉え、主に平板ブロック等を使った歩道整備や境界ブロックの設置など修景整備を行い、車道部分は、雨水排水の効果が高く低騒音効果もある排水性舗装を行う。また、債務負担行為による1億4000万円の財源内訳については、地域の元気臨時交付金が1億500万円、一般財源が3500万円である。

財産の取得について (松阪市総合運動公園用地)

問 取得する用地の用途は。また、工事開始はいづごろになるのか。

答 用途としては、ジョギングや散歩ができる園路、デイキャンプ場、また、現在の自然環境を生かした土地利用を考えている。松阪市総合運動公園事業については、平成30年度を完了予定としており、今のところ工事の時期については、具体的な計画を立てていない。



神戸地区市民センター

松阪市議会初

議会報告会 を開催しました

4月22日、30日、5月13日の3日間にわたって、別表のとおり11会場で開催しました。

当日は、初めに2月定例会での審議概要を報告し、その後、報告に対する質疑応答と意見交換を行いました。

延べ301名の方にご参加いただき、さまざまなご意見やご提案をいただきました。皆さまからのご意見やご提案は、全議員の共通認識とし、今後の議会運営に生かしていくとともに、執行機関へも伝えさせていただきます。

また、参加者の皆さまからのアンケート結果については、報告会の内容や配付資料など、今後に向けて改善すべき事項が多く寄せられました。

これらの貴重なご意見を真摯に受けとめ、次回の開催に向けて、よりよい議会報告会となるよう準備を行うとともに、さらに市民の皆さんに開かれた議会、信頼される議会を目指して取り組んでいきます。

開催日	会場	参加者数
4月22日(月)	松尾地区市民センター	19人
	阿坂構造改善センター	35人
	第四公民館	9人
	神戸地区市民センター	18人
	橋西地区市民センター	20人
4月30日(火)	茅広江地区市民センター	42人
5月13日(月)	飯南産業文化センター	51人
	ハートフルみくもスポーツ文化センター	23人
	機殿小学校	11人
	飯高老人福祉センター	33人
	嬉野生涯学習センター	40人

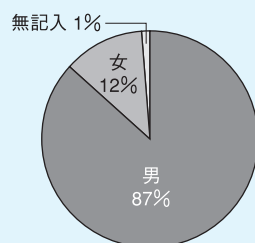
議会報告会アンケートから

○回答者総数：240人（回収率79.7%）

○配付人数：301人（平均27.4人／会場）

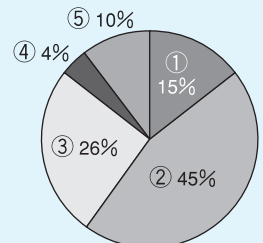
■性別

区分	人数(人)
男	208
女	29
無記入	3
計	240



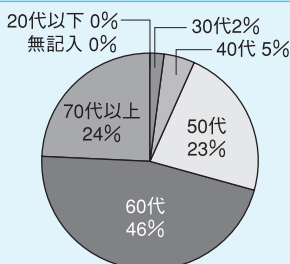
■報告内容について

設問	人数(人)
①よくわかった	35
②ある程度わかった	110
③あまりわからなかった	62
④全くわからなかった	10
⑤無記入	25
合計	242



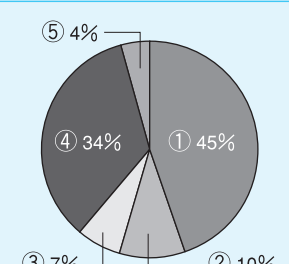
■年齢

区分	人数(人)
20代以下	0
30代	5
40代	11
50代	54
60代	111
70代以上	58
無記入	1
計	240



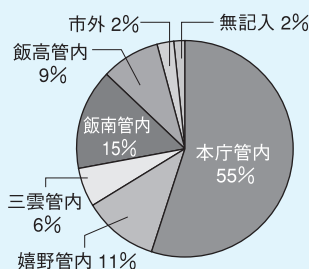
■周知について

設問	人数(人)
①チラシ	114
②市議会ホームページ	25
③ケーブルテレビ	17
④その他	88
⑤無記入	11
合計	255



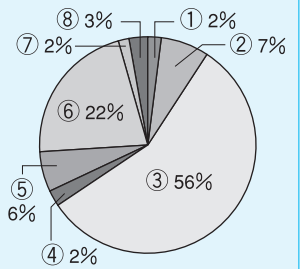
■住所

区分	人数(人)
本庁管内	132
嬉野管内	27
三雲管内	14
飯南管内	36
飯高管内	21
市外	6
無記入	4
計	240



■時間帯について

設問	人数(人)
①平日の午前	5
②平日の午後	18
③平日の夜	141
④土日・祝日の午前	6
⑤土日・祝日の午後	15
⑥土日・祝日の夜	54
⑦その他	4
⑧無記入	7
合計	250



主な質疑応答・意見

議会報告会で市民の皆さまからいただきました主なご質問・ご意見等は次のとおりです。

議員定数・議員報酬について

問 議員自らが定数や報酬を決めてよいのか。

答 基本的には、報酬は市長が報酬等審議会を開催し決めるべきであり、議会はこれまで報酬等審議会の決定に従ってきたが、市長は開催しない。議会基本条例の制定により、議会として議員定数や報酬について



飯南産業文化センター

て審議会を設置することが可能となったが、今夏の選挙において実施するには、審議会の答申を求める期間が少ないことから、定数については議会改革特別委員会で議論し2名減を決めた。

問 議員定数や報酬については、選挙後も議論していくのか。

答 当然、議会基本条例の趣旨に沿って議論していくと考えている。

政策立案等について

問 議員の意見が行政に反映されるような活動はしているのか。

答 議員も活動しているが、議会としては、議会基本条例の制定が一つの大きな成果だと考える。

市民まちづくり基本条例について

問 住民協議会を運営していく上で、まちづくり基本条例は大切かと思うが、議会が否決した理由は。

答 まちづくりにおいて住民協議会の果たす役割は大きく、議会でもそのことは十分認識しており、議会が住民協議会そのものを否定したことはない。むしろ現在、規則で規定している住民協議会を条例で規定



ハートフルみくもセンター
スポーツ文化センター

すべきとの意見書を議会から市に対して提出している。

議会でもさまざまな議論が交わされ、地方自治を拡充していく上で重要な条例だという賛成意見や、市民の定義があいまい、住民投票制度に外国人も含まれている、市民の間で十分に議論がされていないなどという反対意見もあった。議会ではこれらを十分に吟味し、議論を重ねた結果、賛成少数で否決となった。

住民協議会について

問 住民協議会の設立によって、行政のまちづくりに対するかわり方が水臭くなった。住民の負担も

ふえている。高齢化、少子化、過疎化を克服し、地域の活性化のために議会もチェックするだけでなく、行政と議会が両輪になって立案すべきではないか。

答 少しでも住民の皆さんからご意見、ご要望を聴いていきたいと思っている。それらを真摯に受けとめ、今後の政策につなげていきたい。そのためにも



機殿小学校

しっかりと現場に入っていくことを考えている。

水道料金について

問 松阪市の水道料金は県下で1、2位を争っている。なぜこんなに水道料金が安いのか。

答 三重県からの受水費が水道の全体費用に対して約4割を占めていることがある。平成25年度の予算における3000万円の黒字部分については、震災事業などに備えて、配水池や水道管の耐震化を図っており、黒字部分はその一部にしている。水道料金を下げることとは難しい状況であるが、県と交渉して元を下げる必要がある。

ごみ処理施設について

問 ごみ処理基盤施設建設費11億円が計上されているが、RDFの処

理能力はまだあるのに、なぜ一元化を急ぐのか。

答 1市4町が合併し一つの自治体としてごみ処理をしていくという原則を守っていくというものが執行部の方針である。

生活保護について

問 松阪市では生活保護世帯がふえてきている。昔は生活保護世帯といえは、ある程度高齢者という認識があったが、最近では



嬉野生涯学習センター

35歳くらいの若い人も受けている。病気とかいろいろな事情もあるが、35歳くらいで生活保護を受けると仕事する意欲もなくなるのではないかと。市として社会復帰できるような対策を取っているのか。

答 担当課では、家庭訪問を行い、元気な方はハローワークへ紹介をしている。

意見 どうしても必要な方は救済し、なるべく早く、社会復帰できるように対応していただきたい。

その他多数のご意見、ご要望をいただきました。ありがとうございました。詳細については、報告書として、市議会のホームページに掲載しています。

皆様の傍聴をお待ちしています

9月定例会の開催日程

9月定例会は、9月6日(金)から10月18日(金)までの会期43日間の日程で開催します。

9月 6日(金)	本会議	決算議案上程・提案説明、 決算調査特別委員会設置
	委員会	決算調査特別委員会
11日(水)	本会議	決算議案質疑・委員会付託
	委員会	決算調査特別委員会
12日(木)	分科会	決算調査特別委員会(総務生活分科会)
13日(金)	分科会	決算調査特別委員会(環境福祉分科会)
17日(火)	分科会	決算調査特別委員会(建設水道分科会)
18日(水)	分科会	決算調査特別委員会(文教経済分科会)
25日(水)	委員会	決算調査特別委員会
27日(金)	本会議	決算調査特別委員長報告・議決、 議案上程・提案説明
10月 2日(水)	本会議	議案質疑・委員会付託、請願・陳情上程
4日(金)	本会議	一般質問
9日(水)	本会議	一般質問
10日(木)	本会議	一般質問
11日(金)	委員会	環境福祉委員会
		文教経済委員会
15日(火)	委員会	総務生活委員会
		建設水道委員会
18日(金)	本会議	委員長報告・議決

※本会議は、市役所3階市議会議場で、委員会は2階市議会委員会室で開催いたします。

※時間は、いずれも午前10時から開催の予定です。

※変更される場合もありますので、ご確認ください。

本会議の議会放映

本会議については、ケーブルテレビ(iウェーブまつさか)の行政チャンネル(デジタル123ch・アナログ6ch)により、生中継及び録画による放送を行います。録画放送については、平日の午後8時からの放送予定です。

また、松阪市議会のホームページからもインターネット中継及び録画をご覧になれます。

この機会に、ぜひ議会の様子をご覧ください。

◆松阪市議会ホームページ◆

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/www/genre/0000000000000/1000000000448/index.html>

議会のうごき

— 6 月 —

- 6日 全国競輪主催地議会議長会役員会
第112回定期総会(東京)
- 7日 全員協議会
- 13日 市議会だより編集委員会
- 14日 第17回議会改革特別委員会
- 17日 文教経済委員会協議会
- 18日 総務生活委員会協議会
- 21日 5月定例会閉会(開会5月31日)

— 7 月 —

- 31日 市議会だより編集委員会

— 8 月 —

- 2日 議員全員懇談会
新議員議会説明会
- 7日 会派代表者会議
- 9日 会派代表者会議
- 12日 8月臨時会開会(閉会8月13日)
- 21日～23日 新議員予算説明会
- 28日～29日 新議員市内施設見学
- 30日 議会運営委員会



編集後記

市議会だより第46号をお届けいたします。

本号では、5月臨時会・定例会における議案審議及び一般質問と、議会報告会の内容を中心に掲載いたしました。市議会では、市議会だより、市議会ホームページでの会議録の検索、議会放映等市議会の活動が少しでも皆様方の身近なものとなりますよう、議員一同日々研さんしております。

市議会だより及び議会放映を見られてのご意見・ご感想を市議会だより編集委員会(松阪市議会事務局)までお寄せください。

お問い合わせ 松阪市議会事務局

電 話 0598-53-4433

FAX 0598-23-3962

Eメール gikai@city.matsusaka.mie.jp

発 行/松阪市議会

(〒515-8515 松阪市殿町1340番地1)

編 集/市議会だより編集委員会